

ほけんだより

## 尿検査のお知らせ

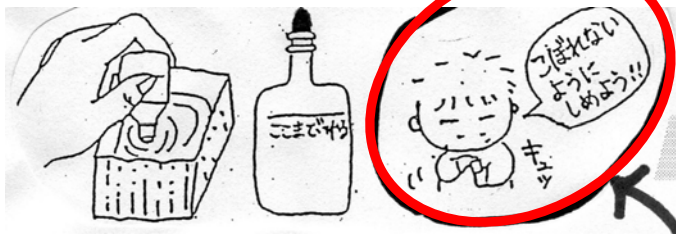
【実施日】 4月15日(水)・16日(木)・17日(金)『予備日』

【検査機関】 オー・エム・エル

尿検査は、尿の中にたんぱく・糖・血液が出ていないかを調べるために行います。  
「尿検査?めんどくさー」と言って出さない人がいますが、体の健康にとって大切な検査です。  
尿検査の大切さについて、裏面に載せているので、よく読んで提出しましょう。

## ★尿をとる時、次のことに気をつけましょう★

なぜ、朝一番の尿をとるの??

① 朝、起きてから、すぐの尿をとります。② 出始めの尿ではなく、なるべく中間の尿を紙コップにとります。

寝ている間に作られる尿にタンパクが混じっていると、病気の疑いがあるため、体が活動する前の朝一番の尿をとって検査するのです。

③ こぼれないように、赤いふたをしっかりと閉めます。④ 紙袋に、名前のふりがな・学年・番号・年齢・男女別を必ず書いてください。⑤ 尿の容器を名前が書いてある紙袋に入れて、さらにチャック付きのビニール袋に入れて、持ってきます。1時間目が始まるまでに各教室で提出してください。

保護者のみなさまへ

今回の1次検査で、陽性(+)反応が出た場合、2次検査を予定しています。学校での検査は集団検査で、「疑わしい場合はすべてチェックする」方法なので、1次検査で陽性(+)反応が出ても、すぐに病気だとは限りません。検査当日、体調が悪かったために、タンパクや潜血などが出る場合もあります。

女子の人で、生理中の方は、2次検査の日に出してください。2次検査の日、後日お知らせします。

2次検査の必要な場合のみ、結果のお知らせを渡します。

お知らせがない場合は、異常なしです。

じんぞう

## 腎臓は血液をきれいにろ過して、尿を作ります

腎臓は、腰より少し上の背中<sup>①</sup>の左右に1つずつあり、尿を作る仕事をしています。大きさは、手のこぶしより少し大きいくらいです。腎臓には、細い血管が糸のように集まって血液をろ過するすばらしい仕組みがあります。その仕組みによって、血液の中から必要なもの（栄養や赤血球、白血球など）は残して、いらぬものだけを取り除くことができるのです。

腎臓の働きが悪くなると、全身をめぐる血液の中にいらぬものがどんどんたまって病気になってしまいます。さらに、血液の中の赤血球や栄養分（タンパク質）が尿に混じって、体の外に出てしまいます。

尿に赤血球やタンパクが混ざっているということは、腎臓の働きがよくないサインです。

そのサインを調べるのが尿検査です。

だから、尿検査は大切なので、めんどうがらないで、きちんと提出しましょう。

腎臓で作られた尿は、尿管を通して、ぼうこうに運ばれます。

